

令和5年3月31日

令和4年度 神埼市教育委員会評価委員会報告

評価委員会 委員長 中島 秀明
副委員長 廣瀧 喬子
委員 鶴田 良治

神埼市教育委員会は、令和4年度神埼市教育の基本方針に基づき、各種施策に取り組まれてきました。本委員会は、令和4年度の神埼市教育委員会の活動状況及び事業について、令和4年12月20日、令和5年2月9日の2回にわたって、神埼市教育委員会が行った自己評価資料をもとにヒアリングを行い、各重点項目の評価基準（施策目標）、事業成果・実績、自己評価の視点や方法、また、目標の達成度に対する自己評価の適切さなどを点検しました。

その結果、コロナ禍で実施できなかった、あるいは、参加人数を制限した事業等もあったものの、自己点検評価のほとんどの項目で「達成」及び「おおむね達成」であり、目標に達していると判断いたしました。個々の事業に関し、若干の意見を付し報告いたします。神埼市教育委員会が、教育行政を取り巻く環境の変化を的確に把握するとともに、今回実施した点検評価を踏まえ、令和5年度以降の神埼市教育行政の一層の充実、発展に取り組まれることを願っています。

なお、コロナ禍はいくらか収束の兆しが見られるものの学校教育や各種行事の開催のあり方など、新しい時代にふさわしい方法の研究を行い、どのような状況の中にあっても児童生徒や神埼市民が充実した生活が送れるように務めていただくことを期待しています。

1 教育委員会

(1) 教育委員活動・・・「達成」

- 地域住民や保護者との意見交換、学校・社会施設訪問を通して、市民や教育現場及び市長部局との積極的な意見交換等により問題点を把握し、教育現場への指導助言や教育行政への提言など活発な活動が行われている。

(2) 教育委員の研修・・・「達成」

- コロナ禍の影響を受け、オンラインによる講演や分科会などの研修に参加されている。今後とも先進地域の教育視察や研修会等に可能な限り参加し、教育委員としての教育的見識を深め、得られた知見から神埼市の教育の充実を図り、子どもたちが生き生きと学ぶ環境を醸成していただきたい。

2 学校教育

- (1) 学校教育における「不易」の取組(神埼プラン)・・・「おおむね達成」
- 児童生徒の基本である「学習のきまり」による学びの姿勢及び教師の基本である「教師のハンドブック」活用による指導力の向上について、それぞれ基本に返り、必要性を周知させるようご指導いただきたい。
 - 「板書」や「ノート指導」は児童生徒が、学習する上で重要なポイントである。小学校のみならず、中学校でもしっかり取り組んでいただきたい。
 - 「陰山メソッド」による反復学習の徹底や「神埼・ふるさと学習」の取組が定着し、基礎的な部分では成果が上がっているが、読解力も上がるよう学習課題の設定や対話的な学びなど、さらに指導法の研究を進めていただきたい。
 - 「神埼ふるさと学習」では、各学校独自の取組がなされ、郷土愛や学習意欲の向上に結びついている。子どもマイスター、優秀子ども学芸員をそれぞれ選出し、表彰と作品展示を行うことによって、さらに子どもたちの関心が高まっていくことが期待される。
- (2) 学校教育における「流行」の取組・・・「達成」
- ICT教育に積極的に取り組み、小学校5，6年生、中学生全員にタブレットが配布され、授業での使用率が80%と活用が進んでいることは評価できる。
 - 情報化社会となり、ICTの重要度がさらに増しているので、子どもたちのスキルとして、「情報活用能力」をしっかりと身に付けさせていただきたい。
 - 神埼市の「児童生徒の携帯電話やスマートフォン等の利用に関する指針」の周知に努め、情報モラル研修が進められ、犯罪に巻き込まれないように指導が行われていることは評価できる。
 - グローバル化の進展に伴い、コミュニケーションツールとしての英語の重要度が益々高まるなか、小中学校での英語活動や英語講師、英語指導助手の派遣、オンライン英語レッスンの活用、国際交流による異文化理解など今後とも積極的な取組を進めていただきたい。
 - コロナ禍により、海外との行き来が出来なかったが、贈り物やビデオレターなどによる交流を継続するなどの工夫は評価できる。
 - 今後、全ての家庭でタブレット学習が出来るWi-Fi環境の整備などの取組について検討を進められたい。
- (3) 学校教育の基盤となる取組・・・「おおむね達成」
- 教員の資質向上のための「教師塾」は、教師の見聞を広め、指導力を高めるために効果的であり評価できる。
 - 「親学・子学」の活用で家庭学習が定着しつつあり、学力向上にも繋がっているようだが、将来の夢・希望の実現のためには部活動や社会体育、塾、習い事などとの時間配分の重要性に、児童生徒や保護者が気づくよう指導いただきたい。
 - 「神埼市四か条の誓い」は素晴らしい取組であり、神埼市の教育の柱として、学校はもとより、保護者、地域が一体となって積極的に推進していただきたい。

- いじめ・問題行動・不登校に対する取組は初期対応が重要であり、保護者や相談機関と連携を密にして、子どもたちを支え、しっかり導いて欲しい。また、相談しやすい環境づくりを目指し、先生や親などへも相談しやすい雰囲気を作り、児童・生徒同志の信頼関係の構築、人権・個性尊重の教育推進を図っていただきたい。
 - 特別支援教育については、関係機関等とも十分連携して効果的な支援・指導が図られている。今後とも、個々の子どもの状況に合わせた特別支援学級や通級指導教室等での配慮をお願いしたい。
 - 「神崎市部活動の在り方に関する方針」をもとに第3日曜日の部活動休養日も徹底されている。外部指導者の増員等さらに働き方改革を推進し、生徒も教員も生き生きと過ごせる環境を構築していただきたい。
 - 関係機関との通学路点検やPTA等の見守り活動、ヘルメット着用の呼びかけなど、学校、保護者、地域が一体となった児童生徒の安全を守る体制が整っていることは評価できる。児童の自転車乗車時のヘルメット着用率は100%を達成していただきたい。
- (4) 神崎市「教育の日」と「教育週間」・・・「達成」
- 「教育の日」「教育週間」については、コロナ禍で式典は開催せず、受賞者への表彰や、子どもたちの作品展示を行い、また、学校のフリー参観は全校で行われるなど、市民が関心を持つような取組となっている。

3 学校給食共同調理場

- (1) 徹底した衛生管理に基づく給食調理・・・「達成」
- ハサップ方式に対応した衛生管理、給食調理は、専門機関の残留農薬・大腸菌等の検査による食材の品質確認、衛生管理、工程管理などの記録の徹底による安全性の確保がなされており評価できる。
- (2) 市内全小中学校へ安心安全な給食の提供・・・「おおむね達成」
- 安全・安心な給食提供のため、食材購入の厳しいチェックに加え、異物混入は絶対ゼロにするという担当職員全員の意識の高揚を図っていただきたい。また、今一度マニュアルの項目をしっかりと点検し、調理器具劣化破損チェック体制、調理手順、異物の目視確認、労働災害の回避など、毎日の確認を着実に実施し、異物混入根絶をお願いしたい。食物アレルギーは保護者や学校、関係機関などと連携し十分な対策を行い、子どもたちにとって健康的で楽しく豊かな給食となるよう今後もたゆまぬ努力をお願いしたい。
- (3) 教育環境の一環として給食を通じた食育の実施・・・「達成」
- 季節ごとの行事給食、バイキング給食、季節の旬の食材を使った給食など、子どもたちに献立の意義や食事マナーに興味を持たせる食育の工夫がなされている。親子試食会やバイキング給食などで栄養教諭の専門的な話を聞くことは、子どもたちや保

護者にとって大変有意義な機会であり、継続した取組をお願いしたい。調理場への学校や一般の見学や試食により学校給食への理解が一層深まっているようだ。

- 地元の食材の活用により、子どもたちの地域の農産物への関心を高めていただきたい。
- コロナ禍が収まり「黙食」を集結し、一日も早く和気あいあいの食事風景が復活することを期待します。

(4) 学校・保護者と連携した学校給食の提供・・・「達成」

- 校長会代表、保護者代表、学校給食担当者からなる学校給食献立委員会は、給食内容等の充実、残菜量の低減のために大切な会議であり継続的な開催をお願いしたい。

4 社会教育

(1) 生涯学習の推進・・・「達成」

- コロナ禍の中、実施が難しい講座もあったと思うが、十分な配慮と工夫で実施されている。参加者の満足度は高く評価できる。市報・ホームページ等により情報発信が行われ、人材バンクの登録者の活用により生涯学習の推進が効果的に行われている。

(2) 学校・家庭・地域の連携・・・「達成」

- 地域学校協働活動や子どもまつり事業はサポーターの協力もあり、子どもたちが楽しく活動に取り組むことが出来ており、地域で育てる素晴らしい教育活動であり評価できる。さらに多くの市民の参加を期待したい。

(3) 青少年健全育成の推進・・・「達成」

- 「中学生サミット会議」でのボランティアパスポートを活用した市内一斉美化活動は、全国的にも評価されるものとなっている。「神崎市青少年主張大会」は親だけでなく、多くの市民も参加され、素晴らしい大会となり、今後も継続的に実施してほしい。
- 青少年の健全育成のための「子ども安全安心まちづくりアピール集会」や「地区子育て懇談会」は、市民の意識啓発に繋がる取組として評価できる。また、「神崎市四か条の誓い」「青少年だより」などで、「子どもは地域の宝」の合い言葉のもと、市民全員で青少年健全育成を行う気運が高まってきている。

(4) 放課後子ども総合プランの推進・・・「達成」

- 放課後子ども教室は、地域の特技を持った方々の協力を得て多くの活動が実施され、子どもたちが満足できるものとなっている。
- 放課後児童クラブは、共働き家庭が増加する中、子育て支援の意味からも大変重要である。希望者全員を受け入れることができているのは評価できるが、多くの子どもを預かる支援員の苦労の実態を把握し適切な対応をしていただきたい。

(5) 芸術・文化教育の推進・・・「達成」

- 下村湖人の顕彰や子ども能楽教室は、地元とのつながりが深くなることは勿論のこと、子どもたちの芸術・文化教育の面から情操教育に役立つかけがえのない取組であり、今後も継続して実施していただきたい。

5 社会教育（中央公民館）

(1) 公民館運営審議会・・・「おおむね達成」

(2) 公民館の役割・・・「おおむね達成」

- 新型コロナウイルス感染症対策が十分に行われ、講座数も利用数も少しずつ回復している。
- 健康寿命を伸ばすためにも高齢者が楽しめる場としての施設、行事の工夫をお願いしたい。

(3) 公民館の事業・・・「おおむね達成」

- コロナ禍の中、気を配りながら公民館主催の講座を実施されたことは評価できる。
- パソコン講座に加え、スマホ活用講座（通話・メールアプリ、オンライン決済、マイナンバーカードの利用法など）の開催についても検討してほしい。

(4) 地域活動の推進・・・「おおむね達成」

- コロナ禍の中、「地域ぐるみわんぱく支援事業」や「子どもクラブ連絡協議会活動」は一部の実施にとどまったが、今後、参加者が増加し、継続的に実施できるよう工夫の必要がある。
- 自治会活動は、積極性に地域差が大きいですが、高齢化や子育て支援、防災など地域の連携が重要な課題は多いので取組の活性化を期待する。

(5) 文化活動の育成と推進・・・「達成」

- 文化連盟活動としての各町の文化祭は、活動内容、運営組織など活動の充実のための工夫が必要である。
- 「吉田絃二郎顕彰活動」で、小・中学生の素晴らしい感想文や感想画が多く寄せられ、最優秀賞の作品は神崎市報に掲載され、子どもたちの励みになる取組となっている。

6 社会教育（図書館）

(1) 市民のニーズに応える図書館資料の充実・・・「達成」

- 常に関係機関や市民にアンケートをとって、昨年度以上に図書、視聴覚資料の充実

が図られており、市民が読書活動を通し、充実した文化的な市民生活を送ることに貢献している。

(2) 利用者へのサービスの充実・・・「達成」

- 行事・季節や話題にちなんだテーマの本の紹介や展示等よく工夫され、来館者にも好評であり、職員の対応も親切丁寧である。
- 広報誌や掲示物、声かけ等で市民へのお知らせを積極的に実施するなど、日々の活動によって図書館利用者数も図書の貸し出し数も年々増加しており、評価できる。
また、館内の展示もよく工夫や、職員の親切丁寧な対応は来館者に好評であり評価できる。

(3) 郷土資料の収集と活用・・・「達成」

- 郷土資料の収集件数(寄贈)や問い合わせの件数も増加し、特別コーナーも作成され、市民の郷土に対する高まりに貢献している。

(4) 事業の取組・・・「達成」

- 「おはなし会」等はコロナ禍で開催できない時期もあったが、子育て世代への夢や希望・安心感を育てる事業であり継続した実施のための工夫が必要である。
- 家読モデル事業に取り組む地区の拡大など、読書する市民の機運を醸成してほしい。
- 図書館利用の促進や図書ネットワークの充実に積極的に取り組み成果が上がっている。

(5) 職員の資質向上・・・「達成」

- 研修会への参加、図書館会議、学校司書との情報交換会等が行われ、職員の向上が図られている。さらに県内外の図書館の事例を研究するなど研鑽を積んでいただきたい。
- 司書の資格を持つ職員の配置を検討していただきたい。

(6) 図書館ネットワークの充実・・・「達成」

- 市立図書館と小中学校、県立図書館や他市町図書館との連携による市民の利便性は高く評価できる。

(7) 図書館協議会・・・「達成」

- 図書館協議会で外部の意見を聴き、運営や取組の改善が図られている。

7 文化財

(1) 埋蔵文化財の保護と調査・・・「達成」

- 市内の多くの文化財を熱心に調査し保護されている。

(2) 各種文化財の保護と調査・・・「達成」

- 市内の文化財の保護と調査に積極的に取り組まれている。

(3) 歴史文化遺産の情報公開・・・「達成」

- 素晴らしい神埼市の歴史文化遺産の公開を文献や情報誌で積極的になされている。
- 各種資料をDVDなどデータ化して、市民が閲覧できるよう検討していただきたい。
- 見学会や歴史探訪など市民が参加する活動を積極的に行い、市民の関心が高まっており評価できる。
- 豊富な神埼市の歴史文化遺産を佐賀県のみならず広く広報し、神埼市の活性化に繋げてほしい。

(4) 文化財の保存・整備・・・「達成」

- 旧古賀銀行での講座開催や読み聞かせ・コンサートなど有意義な活用がなされていて、参加者も多く市民に好評である。姉川城跡については、保存整備中だが、直鳥城などの平野部で特徴ある環濠集落として、関係部署との連携のもと観光にも活かしていただきたい。

(5) 文化財保護審議会・・・「おおむね達成」

- 文化財の指定物件は、その地域の誇りや自信に繋がると思う。調査研究により新しく指定を増やす努力をお願いしたい。

8 スポーツの振興

(1) スポーツ指導体制の充実と団体の育成・・・「おおむね達成」

- 市民の生活習慣病の予防、健康増進、子どもの体力向上等のため、誰もが身近にスポーツを楽しめる環境づくりによって、スポーツの裾野を広げ、さらに競技水準の向上を目指し、スポーツ指導体制の充実と団体の育成を図っていただきたい。

(2) スポーツの生活化と生涯スポーツの推進・・・「おおむね達成」

- すべての市民がスポーツの楽しさを知り、継続することにより、心身ともに健康な生活につながるので今後とも推進に努められたい。今年は、コロナ禍でやむを得ない部分が多かった。
- 取り組み易い軽スポーツは、福祉、介護、病気予防など健康づくりに深く関わっている。市民の健康づくりは市の重要課題であり、教育行政のみならず、関係各課と連携し新しいスタイルでの開催も含め推進していただきたい。

(3) 競技スポーツの強化・支援・・・「おおむね達成」

- 県民大会、県外大会への参加について、コロナ禍の影響で無観客での実施の競技もあったが、状況がコロナ禍以前に戻りつつある。国民スポーツ大会を見据えて、今後の強化策を検討していただきたい。

(4, 5, 6) スポーツイベントの開催や体育協会の主な事業への協力・支援
・・・「おおむね達成」

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、各種大会が実施されるようになってきている。今後の各大会の隆盛を期待する。

(7) 国民スポーツ大会・・・「達成」

- 2024年の佐賀県での国スポ、全障スポの開催に向け、準備が進められているようだが、競技力の向上にも取り組んでほしい。

(8) 社会体育施設の運営と管理・・・「達成」

- 東部地区にはまだ無いスケートパークの設置について検討していただきたい。

9 その他

- 子どもたちが安全・安心に過ごすことが出来る学ぶ環境の確保のためには、通学路の安全、校内での安全のみならず、豪雨や地震、新型コロナウイルス感染症など、緊急時への対応が重要である。

そのためには、危機管理意識の向上と将来を見通した組織としての対応マニュアルの点検、防災教育の推進などを図っていただきたい。